

# Hungary

～在ハンガリー日本国大使館～

2016年6月

—Monthly Review—

全 16 頁

## 政治・経済月報(2016年5月号)

### 政治・内政

- [難民再移転割当てに関する国民投票実施へ](#)

### 政治・外交

- [クヴェール国会議長の訪日](#)
- [ラヴロフ露外相のハンガリー訪問](#)

### 経済

- [中央統計局：ハンガリー第1四半期実質GDP成長率0.9%増（速報）](#)
- [フィッチ社：ハンガリーの格付けをBBB-に格上げ](#)
- [ハンガリー中央銀行：金融緩和サイクル終了を示唆](#)

|                  |       |               |                              |
|------------------|-------|---------------|------------------------------|
| ○インフレ率           | (y/y) | (2016年4月)     | +0.2% (食品：+0.9% エネルギー：-0.1%) |
|                  |       | (2015年平均)     | ▲0.1% (食品：+0.9% エネルギー：▲2.9%) |
| ○賃金上昇率           | (y/y) | (2016年1-3月平均) | +6.0% (民間：+5.4% 公的：+7.8%)    |
|                  |       | (2015年平均)     | +4.2% (民間：+3.9% 公的：+5.1%)    |
| ○鉱工業生産           | (y/y) | (2016年3月平均)   | ▲4.6%                        |
|                  |       | (2015年平均)     | +7.5%                        |
| ○小売売上高<br>(暦調整後) | (y/y) | (2016年3月平均)   | +5.5%                        |
|                  |       | (2015年平均)     | +5.6%                        |
| ○失業率(15-74歳)     |       | (16年2月-4月)    | 5.8%                         |
|                  |       | (2015年平均)     | 6.8%                         |
| ○政策金利            |       | (2016年5月末)    | 0.9% (5月24日：0.15%引下げ)        |
| ○10年国債利回り        |       |               | 3.41%                        |
| ○為替相場            |       | (2016年5月末)    | ・1ユーロ = 314.20 フォリント         |
|                  |       |               | ・1ドル = 282.20 フォリント          |
|                  |       |               | ・100円 = 254.33 フォリント         |

《今月のトピックス》

## I 内 政

- 1 [移民・難民問題を巡る国内の動き](#)
- 2 [野党ヨッビク党大会の開催](#)
- 3 [シッフエル LMP 共同党首、政界引退を表明](#)

## II 外 交

- 1 [クヴェール国会議長の訪日](#)
- 2 [ラヴロフ露外相のハンガリー訪問](#)
- 3 [ロマ系教育に対する欧州委員会による侵害手続開始](#)
- 4 [農地取得規制に対する欧州委員会による侵害手続](#)

## III 経 済

- 1 [IMF：ハンガリーに関する年次報告書を公表](#)
- 2 [政府：経済収斂計画を欧州委員会に提出](#)
- 3 [4月の新車販売台数：前年同月比 19.7%増](#)
- 4 [国家経済省：2017年税制改正法案を国会に提出](#)
- 5 [オルバーン首相：R&D分野への政府支出増を発表](#)
- 6 [政府：2017年の銀行税減税を検討](#)
- 7 [非EU市民のうち、中国人投資家による住宅購入が最多](#)
- 8 [中央統計局：2016年第1四半期実質GDP成長率0.9%増（速報）](#)
- 9 [ブリティッシュテレコム社：67番目の戦略的協力協定締結企業に](#)
- 10 [エコノミスト、2016年実質GDP成長率の見通しを引下げ](#)
- 11 [フィッチ社：ハンガリーの格付けをBBB-に格上げ](#)
- 12 [オルバーン首相：自動運転用テストコース建設を発表](#)
- 13 [独系アウディ社：2015年の売上げを発表](#)
- 14 [中央銀行：金融緩和サイクル終了を示唆](#)
- 15 [独系メルセデス社：2015年の売上げを発表](#)
- 16 [独系ヘンケル社：68番目の戦略的協力協定締結企業に](#)
- 17 [ウィズエアー：2015年度の売上げを発表](#)
- 18 [独系ポッシュ社：2015年の売上げを発表](#)
- 19 [経済研究所GKI：2016年実質GDP成長率見通しを2.0%増に引下げ](#)
- 20 [IMD：ハンガリー競争力、46位に改善](#)
- 21 [マジャー・スズキ社：2015年の売上げを発表](#)

# Hungary

---

[22 ラーザール首相府長官：パクシュ原発について EC とは合意可能](#)

[23 MVM 社：パクシュ原発拡張計画の採算性を疑問視](#)

[24 MEKH：2015 年における再生可能エネルギー発電割合を発表](#)

## IV その他

・[ハンガリー経済データ](#)

・[2016 年 5 月の選挙・支持政党に関する世論調査](#)

・2016 年 5 月の出来事

※本資料は当該月間のハンガリー紙等の報道をベースにとりまとめたものです。

# Hungary

---

## I 内 政

### 1 **移民・難民問題を巡る国内の動き** (6日, 10日, 24日)

#### (1) 欧州委員会の難民対策改正案に対する政府の反応 (6日)

欧州委員会が発表した難民対策改正案（難民受け入れを拒否する EU 加盟国に対する難民 1 人あたり 25 万ユーロの支払い義務化等を含む）に対し、オルバーン首相は、同改正案を誤りであると批判し、「我々の課題は難民の割当てではなく、国境の防衛であり、国境警備を強化し、難民キャンプは EU 域外に設置しなければならない。」と述べた。

#### (2) 再移転割当てに関する国民投票実施の承認 (10日)

政府が提案した EU による庇護申請者の再移転割当てに関する国民投票が国会で承認された。国民投票の質問内容は、「あなたは、EU が国会の承認なしに、非ハンガリー人のハンガリーへの強制的な移住を定めることができることを望みますか」というもの。政府は、EU 内での手続きの加速が予想されることから、国民投票は緊急性を有するものであり、「ハンガリー人は、国民投票によってブリュッセルを止め、ブリュッセルが計画した強制的な移住を否定することができる。」と説明している。

#### (3) 難民関連法改正法案の可決 (10日)

国会にて、難民関連法改正法案が可決された。これにより、庇護申請者が難民収容所に滞在可能な期間の短縮、滞在許可の取得のための条件の厳格化等、難民資格申請に関わる手続き等に変更が加えられた。

#### (4) 再移転割当てに関する国民投票実施に対する違憲審査の要求 (24日)

EU による庇護申請者の再移転割当てに関する国民投票の実施について、1 市民からの要求により、違憲審査が実施されることになった（違憲審査は誰でも要求可能）。違憲審査の要求に対し、憲法裁判所は 30 日以内に判断を下さなければならない。

### 2 **野党ヨッビク党大会の開催** (29日)

野党ヨッビクの党大会が開催され、ヴォナ党首が党首に再任された。任期は 2 年。ヴォナ党首は、2018 年の総選挙に向けた準備に専念するため、ヨッビク国会議員団長を辞任し、ヴォルネル国会議員が後任となると発表した。

また、副党首には現職であるスナイデル国会副議長、ヴォルネル国会議員、カールパート国会議員が再選され、トロツカイ・アーショットハロム市長、ヤニツァク・オーズド市長及びフルプ・ティサヴァシュヴァール市長が新たに選出された。任期は 2 年。

### 3 **シッフエル LMP 共同党首、政界引退を表明** (30日)

シッフエル LMP 共同党首は、6 月 1 日付けで党首を、8 月 31 日付けで国会議員を辞任し、政界を引退すると発表した。シッフエル党首は、LMP が政界の現状を打破できなかったのは、同党の活動を支援する専門知識を有した組織が存在しなかったためであると述べ、引退後、そうした組織の設立に取り組む可能性を示しつつ、弁護士として

# Hungary

---

の業務に戻るとした。

## II 外 交

### 1 **クヴェール国会議長の訪日** (11～17日)

クヴェール国会議長は参議院の招待により日本を公式訪問し、天皇陛下に謁見、安倍総理、山崎参議院議長及び大島衆議院議長と会談したほか、参議院日本ハンガリー友好議員連盟との会合に出席した。また、広島平和記念公園と平和記念資料館を訪れ、献花を行った。クヴェール議長には友好議員連盟からシモン議員（フィデス）とメシュテルハージ議員（社会党）が同行した。

クヴェール議長は、山崎参議院議長との会談後、両国の友情は、共通の価値、法の支配、民主主義の尊重及び人権の保護に基づくものであるとし、ハンガリーにとって日本がアジア地域で最も重要なパートナーであると強調した。

### 2 **ラヴロフ露外相のハンガリー訪問** (25日)

ラヴロフ露外相がハンガリーを訪問し、オルバーン首相を表敬した後、シーヤールトー外務貿易相と会談した。会談後の記者会見でシーヤールトー外務貿易相は、EUとロシアの協力はプラグマティックで相互の尊重と国際法の尊重に基づくべきであり、そのような協力が再建されなければ、欧州の競争力向上はあり得ないと述べた。また、二国間の貿易は昨年47%、本年2月までに25%減少しているとし、対露制裁は自動的に延長されるべきではないと主張した。

ラヴロフ露外相は、パクシュ原子力発電所の拡張事業は長期的かつ戦略的な投資であり、ハンガリーのエネルギー安全保障と経済発展に貢献するものであると述べた。

### 3 **ロマ系教育に対する欧州委員会による侵害手続** (26日)

欧州委員会は、ハンガリーの学校におけるロマ系生徒の教育の現状について、一部がEU規則に沿っていないとして侵害手続を開始した。多くのロマ系の生徒が隔離されて教育を受けていることから、「人種差別撤廃に関する指令（2000/43/EC）」に合致していないと指摘している。

今般の正式通知は侵害手続の第一段階であり、ハンガリー政府は同通知に対して、2か月以内に回答する必要がある。満足できる回答が得られない場合には、欧州委員会は第二段階として意見を送付し、要すれば欧州司法裁判所に付託する。

これに対し、ラーザール首相府長官は、「理解できない」と反発を示しつつ、欧州委員会と協議する準備があると述べた。

### 4 **農地取得規制に対する欧州委員会による侵害手続** (26日)

欧州委員会は、ハンガリーの農地取得規制について、侵害手続の第2段階にあたる理由付き意見を送付し、国内法の改正を要求した。

ハンガリーの農地取得規制を巡っては、客年3月、資本の移動と企業設立の自由に反する恐れがあるとして、侵害手続の第1段階に当たる侵害手続を開始する旨の正式な通

# Hungary

知が発出されていた。欧州委員会は今回の措置を「同通知に対するハンガリー政府の回答では懸念が払拭されなかったため」としている。

これに対し、ラーザール首相府長官は、ハンガリーとブリュッセルの見解は大きく異なるとして争う構えを見せている。

## III 経 済

### 1 IMF：ハンガリーに関する年次報告書を公表（2日）

IMFはハンガリーに関する年次報告書を発表し、2016年の実質GDP成長率を2.3%と予測、民間部門の投資意欲が低迷している一方で、国内個人消費は堅調との見方を示した。

IMFはハンガリー政府に対し、構造改革の実行と予見可能な経済政策を求めている。

#### 【ハンガリーの経済見通し（対前年比%）】

|             | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 |
|-------------|------|------|------|------|
| GDP成長率      | 2.9  | 2.3  | 2.5  | 2.4  |
| インフレ率       | -0.1 | 0.5  | 2.4  | 2.5  |
| 失業率         | 6.8  | 6.6  | 6.4  | 6.2  |
| 政府債務（対GDP比） | 75.3 | 74.2 | 73.7 | 72.6 |
| 財政収支（対GDP比） | -1.9 | -2.0 | -2.1 | -2.1 |

### 2 政府：経済収斂計画を欧州委員会に提出（2日）

ハンガリー政府は、2016年から2020年までの経済目標を示した経済収斂計画を欧州委員会に提出した。同計画では、2017年以降のGDP成長率を3%以上、2020年における財政収支の対GDP比を-1.2%としている。ただし、同計画は2019年及び2020年におけるEU補助金流入も計算に入れているが、政府は2018年末までに全補助金事業を前倒し執行することを目指している。

また、政府債務残高は、2019年よりも前に対GDP比70%を切るとしている。

#### 【経済収斂計画における主要目標値（対前年比%）】

|        | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
|--------|------|------|------|------|------|
| GDP成長率 | 2.5  | 3.1  | 3.4  | 3.1  | 3.2  |
| 輸出増加率  | 6.7  | 6.3  | 6.8  | 7.0  | 7.3  |
| 輸入増加率  | 6.4  | 7.4  | 7.6  | 7.0  | 7.1  |
| インフレ率  | 0.4  | 0.9  | 2.4  | 3.0  | 3.0  |
| 失業率    | 5.5  | 5.2  | 5.1  | 5.1  | 5.1  |

### 3 4月の新車販売台数：前年同月比19.7%増（2日）

4月の国内新車販売台数は、前年同月比19.7%増の8,061台だった。また、1～4月の乗用車販売台数は、前年同期比15.4%増の27,760台だった。

## 4 **国家経済省：2017年税制改正法案を国会に提出**（3日）

国家経済省は2017年税制改正法案を国会に提出した。30本の関連法を改正するが、大きな改正は予定されていない。主な改正は以下のとおり。

- ・飲食サービスのVATを2017年18%、2018年5%に減税
- ・牛乳、卵、鶏肉のVATを5%に減税
- ・中小企業が投資した際の税額控除の上限を廃止
- ・企業が赤字のため法人税から研究開発費の税控除ができない場合、社会貢献税から控除可能
- ・子供が2人以上の家庭に対する税額控除を月額2.5万フォリントから3万フォリントに引上げ

## 5 **オルバーン首相：R&D分野への政府支出増を発表**（3日）

ハンガリー科学アカデミーの年次総会のオープニング式典に出席したオルバーン首相は、2020年までにR&D及びイノベーション分野に1.2兆フォリントを投資する旨を発表した。2010年におけるR&D分野への支出はGDPの1%だったが、これにより2016年には1.4%、2020年には1.8%となり、EU平均の1.9%に近づくと述べた。

オルバーン首相はまた、ハンガリー科学者の国外流出を止めるため、政治家と科学界が協力しなければならない旨述べた。

## 6 **政府：2017年の銀行税減税を検討**（4日）

ハンガリー政府は2017年の銀行税について、資産500億フォリント以上の税率を0.21%に減税（2016年：0.24%）することを検討中であることを明らかにした。2017年の銀行税による税収は665億フォリント（2016年：855億フォリント）になる見通し。

## 7 **非EU市民のうち、中国人投資家による住宅購入が最多**（11日）

ハンガリー政府の発表によれば、2015年における非EU市民による当地住宅購入のうち、中国人投資家による購入件数が724件でトップだった。露（513件）、ウクライナ（314件）、米（96件）、イスラエル（92件）と続いた。

非EU市民全体では2,410件の購入申請があり、2,708件が承認された（前年申請の承認も含まれることから、申請件数よりも承認件数が多かったものと思われる）。申請が却下されたのは22件だった。

## 8 **中央統計局：2016年第1四半期実質GDP成長率0.9%増（速報）**（13日）

ハンガリーの2016年第1四半期実質GDP成長率（速報）が発表され、前年同期比0.9%増（未調整値）、前期比0.8%減（季節・暦調整値）となり、市場予想を大きく下回った。既に公表されているEU20カ国の中で、ハンガリーの実質GDP成長率（前期比）は一番低い数字だった。

# Hungary

---

政府は、成長鈍化は一時的な要因で、昨年同時期の自動車メーカー 2 社のモデルチェンジによる売上増の反動減、EU 補助金の流入減等によるものであり、4 月に公表した 2016 年実質 GDP 成長率見通し 2.5%は達成可能であり、下方修正はしないとの見解を示した。

【ハンガリー実質 GDP 成長率（前年同期比・未調整値）（%）】

|      | 1Q   | 2Q   | 3Q   | 4Q   |
|------|------|------|------|------|
| 2014 | +3.6 | +4.0 | +3.6 | +3.3 |
| 2015 | +3.5 | +2.7 | +2.4 | +3.2 |
| 2016 | +0.9 |      |      |      |

## 9 **ブリティッシュテレコム社：67 番目の戦略的協力協定締結企業に**（17 日）

ブリティッシュテレコム社とハンガリー政府は、戦略的協力協定を締結した。協定署名式には、シーヤールトー外務貿易相が出席した。本協定は政府にとって 67 番目のものとなる。

同社は、過去 2 年間で雇用者数を 2,000 人まで増やしており、更にデブレツェン市におけるサービスセンターの拡張を計画している。

## 10 **エコノミスト、2016 年実質 GDP 成長率の見通しを引下げ**（19 日）

当地新聞社がエコノミスト 9 人に取材したところ、前週発表された予想を下回る第 1 四半期実質 GDP 成長率の結果を受け、2016 年実質 GDP 成長率の見通しを平均 0.2% 引き下げた。大半のエコノミストが 2.0%前後の成長率を予想している。

## 11 **フィッチ社：ハンガリーの格付けを BBB- に格上げ**（20 日）

大手格付け会社フィッチ社は、ハンガリーの外貨建て長期発行体デフォルト格付けを BB+ 格（格付け見通し「強含み」）から BBB-（同「安定的」）に格上げした。

GDP やガバナンスを示す指標は、平均的な BBB 格の国の水準を上回る一方で、政策予見可能性の低さ、頻繁な税制変更、規制・手続きの負担の大きさが、民間投資を抑制させる要因となっており、ハンガリーの実質 GDP 成長率は平均的な BBB 格の国よりも下回ると指摘している。

## 12 **オルバーン首相：自動運転用テストコース建設を発表**（20 日）

オルバーン首相は、ブダペスト工科経済大学で行われた「未来の車」と題した会議において、ザラエゲルセグ市（ハンガリー西部）に自動運転用テストコースを建設することを発表した。首相は、ハンガリー周辺 500km 以内にそうした施設はこれまでなく、政府は 2010 年以降、ハンガリーを中央ヨーロッパの自動車産業のイノベーション拠点とすべく活動している旨述べた。首相はまた、2025 年までには新車の 5 台に 1 台は、部分的又は全部が自動化されるとの見通しを示した。

与党フィデスのヴィグ議員は、テストコース建設費用は 400 億フォリントとなる見通しで、うち 350 億フォリントは政府が負担する旨述べた。



# Hungary

---

また、ラーザール首相府長官は、ザラエゲルセグ市が選ばれた理由として、同市が大量の失業者の問題に苦しんでいることを挙げた。

テストコースの建設は2017年末までには完了する予定。

## 13 独系アウディ社：2015年の売上げを発表（20日）

独系アウディ・ハンガリー社は、2015年における売上高は前年比12.4%増の83億ユーロだったと発表した。同売上げには、乗用車のほかエンジンの販売も含まれる。独への輸出が売上げの78%を占め、全売上高のほとんどが輸出に起因するものだった。乗用車生産台数は16万台（前年比18.5%増）だった。

同社は2015年、19億フォリントの国家補助金を受領しており、10億フォリントが工場改修に、7.1億フォリントが研究開発費用に充てられた。

## 14 中央銀行：金融緩和サイクル終了を示唆（24日）

ハンガリー中央銀行は政策金利を0.15%引き下げ、過去最低の0.9%とした。声明文の中で「入手可能な情報を基に、インフレ見通しや実体経済の状況から判断すると、今後、政策金利は0.9%が長期間維持され、インフレ率は、2018年上半期に目標（3%）に近づく」との見方を示し、金融緩和政策を終える方針を示唆した。

## 15 独系メルセデス社：2015年の売上げを発表（25日）

独系メルセデス・ハンガリー社のウルフ CEO は、2015年における売上高は前年比21.1%増の34億ユーロだったと発表した。また、2015年の乗用車生産台数は約18万台（前年比20%増）であり、過去最高だった。

フィリップ同社財務部門トップは、2015年に得た6,500万ユーロ以上の営業利益を更なる投資に振り向けていく旨付言した。

同社は、2008年の設立以来、10億ユーロ以上をケチケメート工場に投資し、約4,000人の雇用を生み出している。

## 16 独系ヘンケル社：68番目の戦略的協力協定締結企業に（25日）

独系接着剤メーカーのヘンケル社とハンガリー政府は、戦略的協力協定を締結した。本協定は政府にとって68番目のものとなる。同社は、タタバーニャ市の工場に新たな生産ラインを設立し、拡張工事によって同工場の従業員は30人増え、150人となる予定。

## 17 ウィズエアー：2015年度の売上げを発表（26日）

ハンガリーのローコスト・キャリア、ウィズエアーの2015年度（2015年4月から2016年3月末まで）の利益は、前年度比16%増の1.9億ユーロであり、売上げは前年度比5%増の14億ユーロだった。また、2015年度の乗客者数は約2,000万人だった。

# Hungary

---

## 18 **独系ボッシュ社：2015年の売上げを発表** (27日)

独系ボッシュ・グループのトルマ COO は、2015年における同グループの売上高が前年比 16%増の 9,590 億フォリントであったと発表した。同売上高にはグループ内取引が含まれており、これを除くと 23%増の 2,460 億フォリントとなる。

同社グループは 2015 年に、1991 年のハンガリー進出以来最高となる 370 億フォリントを投資した。同投資の中には、同社にとって欧州 2 番目の規模となるブダペストの R&D センターへの投資も含まれる。また、大規模投資は、自動車部品や電動工具を生産するミシュコルツ工場でも行われた。

ボッシュ・グループは、ハンガリーに 9 つの子会社を有しており、従業員数は 2015 年当初より 1,700 人以上増え、12,200 人以上となっている。

## 19 **経済研究所 GKI：2016 年実質 GDP 成長率見通しを 2.0%増に引下げ** (27日)

大手経済研究所 GKI は、今月発表された 2016 年第 1 四半期 GDP 成長率 (速報) の不振を受けて、2016 年実質 GDP 成長率の見通しを 2.3%増から 2.0%増に引き下げた。投資が前年比 8.0%減 (2015 年 1.9%増) と大きく落ち込む一方で、小売り売上高は前年比 4.5%増 (同 5.8%増) と引き続き好調を維持する見通し。

フィッチ社がハンガリーの格付けを BBB- に格上げしたが、足元の経済減速を理由に、ほかの格付け会社による格上げについては慎重な見方を示した。

## 20 **IMD：ハンガリー競争力、46 位に改善** (30日)

スイスのビジネススクール IMD が 2016 年世界競争力ランキングを発表し、ハンガリーは前年から 2 ランク上昇、46 位だった。調査は、経済パフォーマンス、政府の効率性、ビジネス環境、インフラの 4 項目をベースにランク付けを行った。

ほかの中東欧諸国は、チェコ 27 位 (2 ランク上昇)、ポーランド 33 位 (横ばい)、スロバキア 40 位 (6 ランク上昇)、ルーマニア 49 位 (2 ランク下降)。

## 21 **マジャール・スズキ社：2015年の売上げを発表** (30日)

マジャール・スズキ社は、2015 年における売上高は前年比 28.3%増の 19.8 億ユーロであり、そのうち 93.8%が輸出によるものだったと発表した。乗用車生産台数は 18.5 万台 (前年比 26.1%増) だった。

原材料費は前年比 35%増の 18 億ユーロ、人件費は同 10%増の 5,050 万ユーロだった。従業員数は 1.4%増の 2,835 人、平均給与は 33.6 万フォリント/月だった。

## 22 **ラーザール首相府長官：パクシュ原発について EC とは合意可能** (30日)

ラーザール首相府長官は、ブリュッセルにおいてベスターゲル欧州委員会 (EC) コミッショナー (競争担当) との会談の後、パクシュ原発拡張計画に関する EC との協議は合意に近づいている旨発表した。

同長官は、ハンガリーは近日中に EC に解決策を提出する用意があること、EC との

# Hungary

---

協議がまとまれば、ハンガリーは計画実行のために露からのローンの引き出しを開始する旨述べた。

その一方で、ハンガリー科学アカデミー世界経済研究所のデアーク研究員は、露よりも低金利で市場から資金調達が可能であり、露からの 100 億ユーロのローンは、露からハンガリーへの圧力的手段として使われている旨述べた。

## 23 **MVM 社：パクシュ原発拡張計画の採算性を疑問視** (30 日)

ラーザール首相府長官がパクシュ原発拡張計画は国家補助金の支出なく実行可能であるとしている一方で、ハンガリー国営電力会社 MVM 社のチバ CEO のコメントは、同計画が採算性のない事業であることを指し示している。

チバ CEO は、最近行われた同社の中期戦略を発表する場において、数年前に MVM 社はエネルギー価格を 1 メガワットあたり 90-100 ユーロと予測していたが、現在の価格は 30 ユーロであり、今後も下落する可能性を指摘した。

また、首相府から委託を受けたロスチャイルド社の調査成果によれば、電力価格が 1 メガワットあたり 50-57 ユーロ以上でなければ、同事業計画は利益を生むことができない。

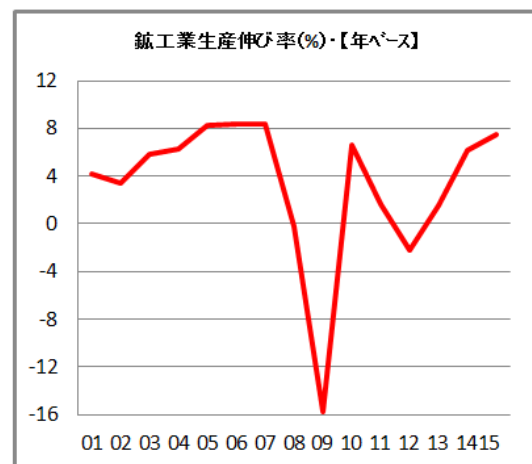
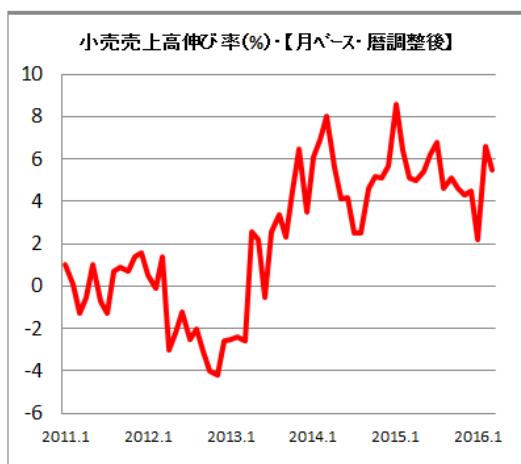
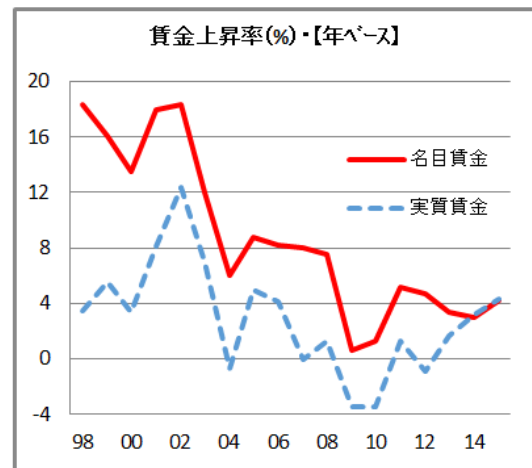
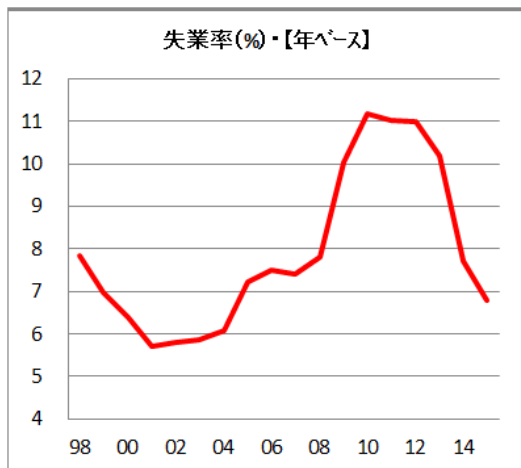
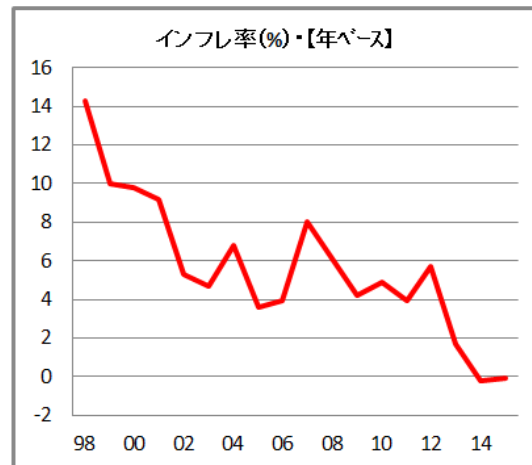
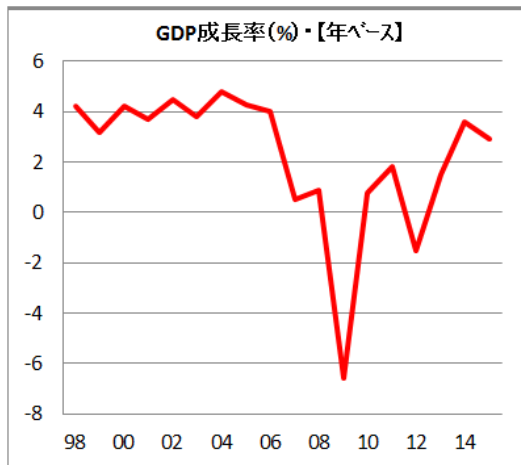
## 24 **MEKH：2015 年における再生可能エネルギー発電割合を発表** (31 日)

エネルギー・ユーティリティ料金監督庁 (MEKH) は、2015 年における再生可能エネルギーの発電量は、全発電量の 10.5% だったと発表した。再生可能エネルギーの発電量は 3,159 ギガワット/時で前年比 0.7% 増だった。

再生可能エネルギーの主な内訳は、バイオマス 52%、風力 22%、バイオガス 9%、太陽光 3% だった。

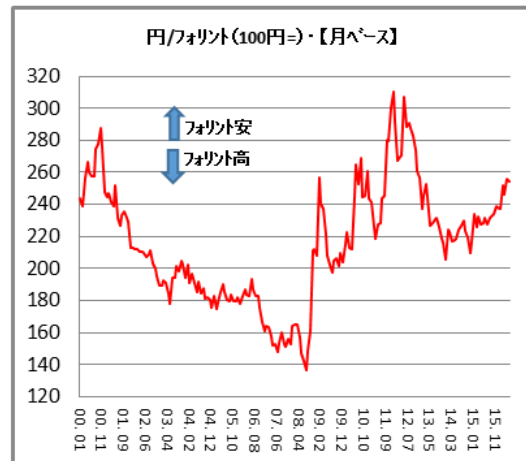
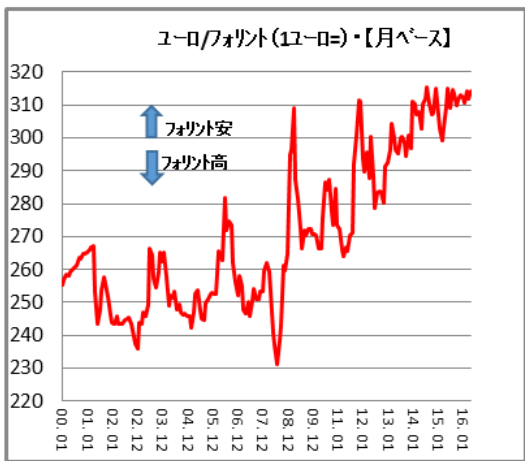
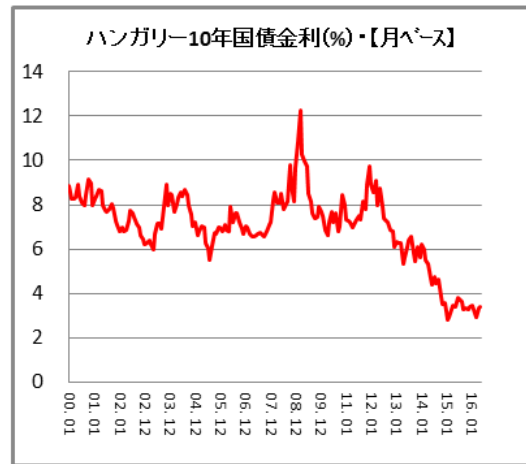
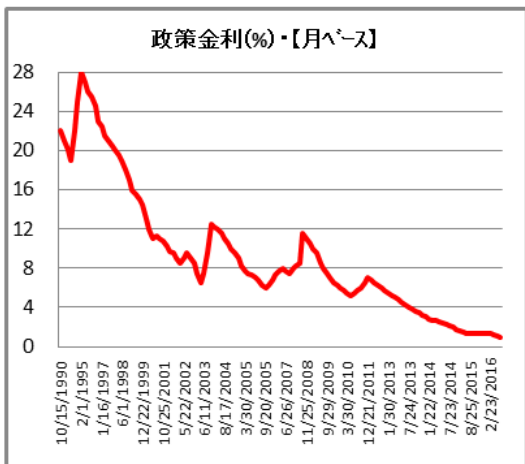
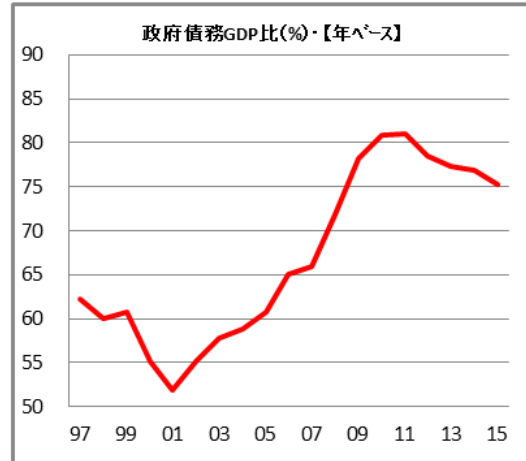
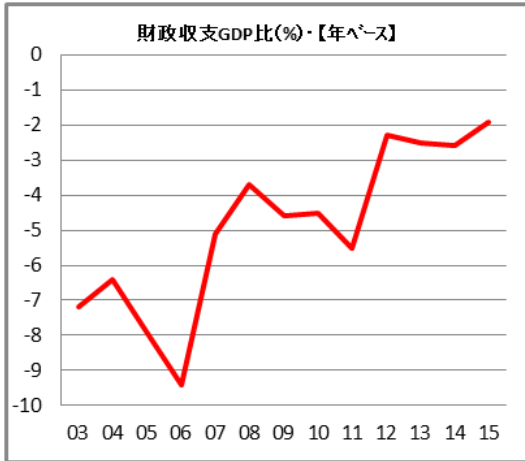
## IV その他

### 《ハンガリー経済データ》



出所ハンガリー中央統計局, ハンガリー中央銀行

# Hungary



出所ハンガリー中央統計局, ハンガリー中央銀行

# Hungary

---

## 《2016年5月の選挙・支持政党に関する世論調査》

(1) 「支持政党を有し、投票に確実に行く有権者」における各政党支持率

|                  | (3月)  | (4月) | (5月) |
|------------------|-------|------|------|
| フィデス (Fidesz)    | : 41% | 40%  | 41%  |
| 社会党 (MSZP)       | : 12% | 13%  | 11%  |
| ヨッビク (Jobbik)    | : 24% | 26%  | 27%  |
| 新しい政治の形 (LMP)    | : 5%  | 7%   | 6%   |
| 民主連合 (DK)        | : 9%  | 7%   | 7%   |
| 共に (EGYÜTT)      | : 4%  | 3%   | 3%   |
| ハンガリーのための対話 (PM) | : 2%  | 1%   | 1%   |
| その他の政党           | : 3%  | 3%   | 4%   |

(2) 全有権者における各政党支持率 (3月は調査結果なし)

|                     | (3月) | (4月) | (5月) |
|---------------------|------|------|------|
| フィデス (Fidesz)       | :    | 29%  | 30%  |
| 社会党 (MSZP)          | :    | 10%  | 9%   |
| ヨッビク (Jobbik)       | :    | 11%  | 12%  |
| 新しい政治の形 (LMP)       | :    | 4%   | 3%   |
| 民主連合 (DK)           | :    | 4%   | 5%   |
| 共に (EGYÜTT)         | :    | 2%   | 2%   |
| ハンガリーのための対話 (PM)    | :    | 1%   | 1%   |
| その他の政党, 支持政党なし, 無回答 | :    | 39%  | 38%  |

(注) ネーズーポイント社調べ

(5月13日～19日データ収集, サンプル数: 18歳以上の市民1,000人)

# Hungary

## 2016年5月の出来事

| 日  | 内政                                  | 日            | 外政   |
|----|-------------------------------------|--------------|--|
| 10 | 再移転割当てに関する国民投票実施の承認<br>難民関連法改正法案の可決 | 3-4          | ・【外貿相】 V4・東方パートナーシップ諸国外相<br>会合出席（於：プラハ）  |
| 10 |                                     | 5            | ・【首相】【国会議長】 当地訪問のクフチンスキ・<br>ポーランド下院議長と会談   |
|    |                                     | 6            | ・【首相】 当地訪問のグリア OECD 事務総長と<br>会談  |
|    |                                     | 7-17         | ・【国会議長】 日本，韓国訪問  |
|    |                                     | 10-11        | ・【外貿相】 国連総会ハイレベル・テーマ別討論<br>出席（於：NY）  |
|    |                                     | 17           | ・【外貿相】 ボスニア・ヘルツェゴビナ訪問  |
|    |                                     | 18           | ・【外貿相】 欧州評議会閣僚委員会会合出席（於：<br>ソフィア）  |
|    |                                     | 19           | ・【外貿相】 NATO 外相会合出席（於：ブリュッ<br>セル）   |
|    |                                     | 23           | ・【国会議長】 EU 国会議長会議出席（於：ルク<br>センブルク）   |
|    |                                     | 23           | ・【外貿相】 EU 外務理事会出席（於：ブリュッ<br>セル）  |
| 24 | 再移転割当てに関する国民投票実施に対す<br>る違憲審査の要求     | 24           | ・【大統領】 英国訪問  |
|    |                                     | 25           | ・【首相】【外貿相】 当地訪問のラヴロフ露外相<br>と会談   |
|    |                                     | 26           | ・欧州委員会がハンガリーの学校におけるロマ<br>系生徒の教育の現状について侵害手続を開始<br>・欧州委員会がハンガリーの農地取得規制につ<br>いて侵害手続に従い国内法の改正を要求 |
| 29 |                                     | 野党ヨッビク党大会の開催 |  |
| 30 | シッフエル LMP 共同党首，政界引退を表<br>明          | 30           | ・【首相】 欧州人民党（EPP）創設 40 周年記念<br>会議出席（於：ルクセンブルク）  |
|    |                                     | 30           | ・【外貿相】 当地訪問のヴォルコフ・モルドヴィ<br>ア共和国大統領と会談  |
|    |                                     | 31-2         | ・【首相】【外貿相ほか】 エジプト訪問  |

# Hungary

---

E-Mail

政務関係 : [political@bp.mofa.go.jp](mailto:political@bp.mofa.go.jp)

E-Mail

経済関係 : [economic@bp.mofa.go.jp](mailto:economic@bp.mofa.go.jp)

E-Mail

広報文化関係 : [culture@bp.mofa.go.jp](mailto:culture@bp.mofa.go.jp)

E-Mail

領事関係 : [consul@bp.mofa.go.jp](mailto:consul@bp.mofa.go.jp)